

施策の展開 II 「消費者の視点に立った安全・安心な生産・供給体制の確立」

～「安全で良質な水産物の安定供給」（条例第8条第1項第1号関係）～

【取組状況・成果】

1 生産から加工・流通にいたる安全で安心できる食品の生産・供給体制の確立

本県産水産物に対する消費者の信頼を確保するため、生鮮品及び水産物加工品の生産・流通段階での衛生管理の高度化等を図りました。

特に、カキ、ホタテガイ等の海産二枚貝においては定期的な貝毒検査等により食中毒の未然防止に努めました。

【平成21年度の主な実績・成果】

(1) 「みやぎ食の安全安心基本計画」に基づく取組の推進

「みやぎ食の安全安心推進条例」で定めた「みやぎ食の安全安心基本計画（食の安全安心の確保に関する基本的な計画）」に基づき、消費者・生産者・事業者及び行政が協働・連携しながら、安全で安心できる食の実現に努めました。

[食と暮らしの安全推進課及び関係課・公所]

(2) 高度な衛生管理を備えた魚市場や加工場などの基盤整備の推進

イ 本県産水産物等の衛生管理体制の高度化を図るため、水産流通加工業者等が実施するHACCP（危害分析重要管理点）方式の導入及び一般的衛生管理の徹底等、衛生管理体制の強化に取り組みました。

[水産業振興課、食と暮らしの安全推進課及び仙台・気仙沼地方振興事務所]

ロ 女川地区において、地震や風雨による経年劣化が著しい市場管理棟について、漏水棟の改善と耐震性能向上を図るため、管理棟の長寿命化補修に対して支援を行いました（平成20年度繰越事業）。

気仙沼市地区において、旋網船による水揚げ作業の迅速化と荷捌きの効率化を図るため、旋網船専用の水揚げラインの整備に対して支援を行いました。また、高鮮度保持と衛生面の向上を確保し、水揚げ待機時間の短縮及び水揚げの迅速化を図るため、サンマ用タンク等サンマ水揚げ機器の整備に対して支援を行いました。さらに、旋網船やサンマ船等のさらなる水揚量の増加及び価格の安定化を図るため、魚体選別機の整備に対して支援を行いました。

石巻地区において、水揚げ時間の短縮と労働力の省力化、取扱品の品質・衛生管理の向上、さらに、待機漁船の解消による漁船漁業経営の効率化及び加工用原魚確保の強化を図るため、魚体自動選別搬送施設の整備に対して支援を行いました。

塩釜地区において、排水処理施設の老朽化や不要な電力の浪費が著しいことから、施設のモーター規模の縮小による省電力化を図るため、省エネルギー型施設の整備に対して支

援を行いました。また、衛生管理の推進による産地市場としてのイメージアップを図るため、海水ろ過滅菌装置の整備に対して支援を行いました。

[水産業振興課及び東部・気仙沼地方振興事務所]

※平成21年度実績

○女川地区（市場管理棟）

- ①事業主体 女川町
- ②施設 市場管理棟
- ③規模・能力 管理棟長寿命化補修

○気仙沼地区（カツオ及びサンマの水揚げライン整備）

- ①事業主体 気仙沼漁業協同組合
- ②施設 水産物荷捌施設
- ③規模・能力 フォークリフト，ベルトコンベア，スカイタンク

○気仙沼地区（省人型施設機能整備）

- ①事業主体 気仙沼漁業協同組合
- ②施設 水産物荷捌施設
- ③規模・能力 魚体選別機2台

○石巻地区（魚体自動選別搬送施設一式）

- ①事業主体 石巻市
- ②施設 水産物荷捌施設
- ③規模・能力 魚体選別機2台，ホッパー受け皿1台，コンベア等

○塩釜地区（海水処理施設）

- ①事業主体 塩釜市
- ②施設 海水処理施設の省エネルギー型施設機能整備
- ③規模・能力 海水ポンプ8基，ろ過・滅菌装置1台，貯留槽1台

ハ 本県産生かきの衛生的な生産体制を確立するため、カキ浄化処理施設の点検・管理等を指導しました。

[水産業基盤整備課及び仙台・東部・気仙沼地方振興事務所]

※ 平成21年度末の整備率 83施設中66施設 79.5%

(対象施設 主に漁業協同組合が管理する共同処理場)

(3) トレーサビリティ導入などによる生産者の顔が見える供給体制の確立

輸入生かき偽装（混入）防止のため、環境生活部・保健福祉部が連携し、県内のかき仲買・袋詰め業者を対象に輸入生かき偽装防止特別監視員（オイスターGメン）による立入検査を実施しました。

[食と暮らしの安全推進課，塩釜・石巻・気仙沼保健所]

(4) 生産から加工・流通まで一貫した鮮度・品質向上取組の促進

消費者に対する水産食品の安全・安心の確保のために、水産物流通加工業者等が取り組む衛生管理セミナーや衛生診断等に対して支援しました。

[食と暮らしの安全推進課及び仙台・気仙沼地方振興事務所]

(5) カキのノロウイルスや貝毒など、生産段階における安全性の確保と監視体制などの強化

イ 本県沿岸で漁獲、養殖生産されている有用二枚貝及び二枚貝捕食生物であるトゲクリガニについて、定期的に麻痺性貝毒及び下痢性貝毒の毒量を検査し、国の定める規制値を超えた場合には自主規制措置を講じるとともに、監視体制を強化して、食中毒の未然防止に努めました。

[水産業基盤整備課、仙台・東部・気仙沼地方振興事務所、水産技術総合センター及び同気仙沼水産試験場]

※平成21年度貝毒検査実績（県及び県漁協の合計実績）

対 象	麻痺性	下痢性
カキ	225	11
ホタテガイ	119	170
ムラサキイガイ	56	53
アサリ	33	24
アカガイ	20	9
ホッキガイ	12	5
コタマガイ	8	4
トゲクリガニ	9	0
合 計 8種類	482	276

(検体数)

※平成21年度自主規制措置実績（県及び県漁協の合計実績）

年	No	対象種	海 域	貝毒の種類	規制開始日	規制値 (MU/g)	規制解除日	規制日数	平均の規制日数
平成21年	1	トゲクリガニ	宮城県南部	麻痺性貝毒	3月31日	5	5月8日	38	44
	2	ホタテガイ	女川湾・牡鹿半島東部		5月11日	0.05~0.06	5月11日	16	
	3	ムラサキイガイ	宮城県中部	下痢性貝毒	5月22日	0.08~0.17	5月22日	19	
	4	ムラサキイガイ	宮城県南部		6月4日	0.05~0.30	6月4日	107	
	5	ムラサキイガイ	宮城県北部		6月19日	0.07~0.14	6月19日	34	

ロ 養魚用飼料の安全性の確保を図るため、養殖ギンザケ等のえさを生産している飼料工場に対し、立入検査、飼料成分検査及び安全性の啓蒙指導を実施しました。

[水産業基盤整備課、畜産課及び仙台・東部・気仙沼地方振興事務所]

※平成21年度検査実績 製造工場等13か所、16検体

【主な事業】

課名	事業費（千円） [決算額]	事業名
水産業振興課	70,374 [106,160]	水産都市活力強化対策支援事業 (水産物供給施設衛生高度化推進事業)

課名	事業費（千円） [決算額]	事業名
水産業基盤整備課	8,020 [7,394]	有用貝類毒化監視対策事業 養殖衛生管理体制整備事業（再掲）
食と暮らしの安全推進課	1,350 [904]	みやぎ食の安全安心推進会議開催事業 食の安全安心消費者モニター制度事業

2 食の安全・安心に関する体制整備と関係機関の連携強化

環境生活部と連携し、「みやぎ食の安全安心推進会議」を開催し、水産業者、流通業者及び消費者相互の情報交換を行うとともに、「みやぎ食の安全安心基本計画」に基づき、消費者への情報提供及び食品の安全・安心に関する調査研究等に取り組みました。

[水産業振興課]

【平成21年度の主な実績・成果】

(1) 消費者による商品モニタリングなど、消費者と水産業者等の連携による食品の安全性の確保

環境生活部と連携し、「みやぎ食の安全安心推進条例」に基づく消費者の役割を積極的に果たす人材育成のための「みやぎ食の安全安心消費者モニター制度」等、県民が参加してみやぎの食の安全安心確保に取り組める制度の推進及びPRを行いました。

[食と暮らしの安全推進課、食産業振興課、水産業振興課、水産業基盤整備課及び仙台・東部・気仙沼地方振興事務所]

(2) 食品の安全・安心に関する調査研究の充実と成果の活用

より安全な生かきの生産に向け、ノロウイルスの検査時間を短縮するための新たな検査手法の開発を行いました。

[水産業基盤整備課、水産技術総合センター及び保健環境センター]

(3) 国，県，市町，水産業者等，消費者などの関係者が一体となった危機管理体制の構築

消費者・生産者・事業者との食に関する意見交換を通じて県民意向の把握に努め，施策に反映させるため，みやぎ食の安全安心推進会議等を開催しました。

[食と暮らしの安全推進課，水産業振興課，水産業基盤整備課及び食産業振興課]

【主な事業】

課名	事業費(千円) [決算額]	事業名
水産業基盤整備課	6,000 [2,529]	生がきノロウイルス対策技術開発事業

3 多様化・複雑化する消費者の需要に対応した供給体制の整備

多様化・高度化する流通・消費システムに的確に対応するため，水産物の安定供給体制の整備等各種施策を実施するとともに，水産物流通の起点となる産地卸売市場の健全な運営を確保するための指導を行いました。[水産業振興課]

【平成21年度の主な実績・成果】

(1) 卸売市場と小売店との連携強化及び地域密着型の流通システムの整備促進

水産物流通機能の強化を図るため，県内10か所の産地魚市場の水揚統計等水産物の流通に関する資料の作成及び各種情報の提供を行いました。

[水産業振興課及び仙台・東部・気仙沼地方振興事務所]

(2) インターネットや宅配など多様な流通チャンネルの整備

イ 地域産業の振興や県産品の消費拡大等を図ることを目的として，農林水産業者，製造加工業者，販売業者等が一堂に会し，これらの産業分野を横断した県産品の展示販売等を行う「みやぎまるごとフェスティバル」を開催しました。

[食産業振興課]

「みやぎまるごとフェスティバル」

開催月日 平成21年10月17日及び18日

開催場所 県庁1階フロア及び庁舎前駐車場，市民広場，勾当台公園

来場者数 16.5万人 売上総額 30,949千円

ロ 第35回宮城県水産加工品品評会において優秀な成績を取めた水産加工品を積極的に消費者へPRするため、ベガルタ仙台ホーム最終戦において、上位3賞受賞品の無料配布及びアンケート調査を行いました。

[水産業振興課]

(3) 衛生機能の充実やマーケティング能力の向上などによる卸売市場の機能強化

イ 水産物流通の起点となる卸売市場の適正かつ健全な運営を確保するため、業務全般に関する検査と併せて中小企業診断士による経営指導を行いました。

[水産業振興課及び仙台地方振興事務所]

ロ 県内産地卸売市場における卸売業者及び買受人等との連携強化を図るとともに、水産物流通の健全な発展を推進するため、関係団体の事業運営に対する指導等を行いました。

[水産業振興課]

ハ まぐろはえ縄漁船の国際減船に水揚げの減少が懸念されたことから、県内産地魚市場への漁船誘致・水揚げ確保を目的に、各魚市場の卸売業者が行う水揚げ奨励金の給付に対して助成を行いました。

[水産業振興課]

※平成21年度助成額

①漁船誘致対策事業（マグロ延縄0.7%）	宮城県内3産地魚市場	48,635千円
②水産物誘致対策事業（陸送マグロ等5.6円/kg）	3産地魚市場	9,601千円
③関連産業経営支援対策事業（旋網等0.2%）	5産地魚市場	30,778千円

(4) 生産物の安定供給、安全・安心の確保、地産地消の取組推進による食料自給率の向上

生産者、製造業者、流通・小売業者、外食事業者、消費者等、それぞれの立場で理解と協力を受けながら「地産地消」を県民運動として推進しました。その手として、食材王国みやぎ地産地消の日」や「食材王国みやぎ地産地消推進店」の制度を創設し、地産地消の普及・定着に努めました。

[食産業振興課]

【主な事業】

課名	事業費(千円) [決算額]	事業名
水産業振興課	970 [890] 70,274 [106,160]	みやぎの誇れる水産加工品PR事業 水産都市活力強化対策支援事業 (水産物供給施設衛生高度化推進事業)(再掲)
食産業振興課	5,200 [4,680]	みやぎまるごとフェスティバル開催事業

○ベガルタ仙台ホームゲーム最終戦における水産加工品PR

第35回宮城県水産加工品品評会において優秀な成績を収めた水産加工品を積極的に消費者へPRするため、ベガルタ仙台ホーム最終戦において、上位3賞受賞品（農林水産大臣賞1点、水産庁長官賞3点、宮城県知事賞1点）について、先着734名を対象に無料配布及びアンケート調査を行いました。

1 水産加工品PRの概要

- ・日程 平成21年12月5日（土）
- ・場所 ユアテックスタジアム仙台 ゲート前
- ・主催 宮城県水産加工研究団体連合会、宮城県
- ・配布数 734個（上位3賞の5品目）

賞名	品名	特徴	会社名
農林水産大臣賞	笹づつみ「焼き牡蠣」	宮城産の大粒「牡蠣」を使用し、素材の旨みをそのまま表現いたしました。	有限会社マルヨ鈴木商店
水産庁長官賞	お魚プリン！？イカスミ入	新鮮な白身魚が入って低カロリー・高タンパクのヘルシースイーツ。ゴマプリン？三陸沖でとれたスルメイカのイカスミが入ってコクのあるプリン。	山徳平塚水産株式会社
	鮭費館	3種類の鮭ペーコン食べ比べが出来る血盛りのお魚プリン。（安納、本京、きんぎょペーコン）特製タレも付いてお手軽に鮭ペーコンをお楽しみいただけます。	株式会社木の屋石巻水産
	鮭御膳かに	江戸前寿司に似た風合でかきが養分に染せた鮭しかまぼこです。かまぼこにもかきを練り込みかきの味が濃縮したかまぼこです。	株式会社高政
宮城県知事賞	三陸気仙沼しめさば	三陸産の鮭を伝承の技でまるやかに漬け込みました。産地加工地気仙沼産です。	株式会社八葉水産

2 アンケート調査結果及び消費者の反応

8時30分からのアンケート用紙配布開始前から多くのベガルタサポーターが集まり、アンケートは1時間足らずで回収することができました。

アンケート調査の結果、水産加工品を購入する際に重視する点としては、「食味」が最も高い結果となりました。一方、近年の食品に対する安全・安心意識の高まりから、「安全性」を重視する割合も高い結果となりました。

また、普段良く購入する水産加工品については、本県の名産品である笹かまぼこを含む「練り製品」の割合が、圧倒的に高い結果となりました。

水産加工品を受け取った消費者からは、「サッカー同様に宮城の水産加工品も応援したい」などの意見も聞かれました。試合はJ2優勝決定と相まって大変な盛り上がりとなり、水産加工品のPR効果も大きくなりました。

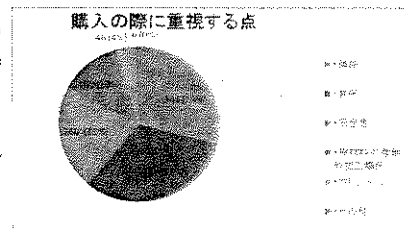


図1：水産加工品を購入する際に重視する点について

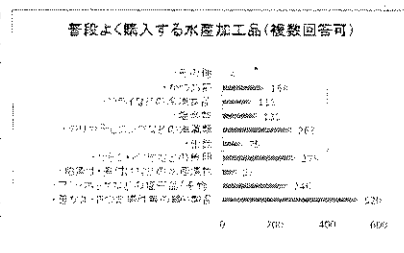


図2：普段よく購入する水産加工品について

3 今後の展開

今後も様々な場面を活用し、本県水産加工品のPRを行っていきたくと考えています。また、今回行ったアンケートの結果については、県のホームページへの掲載などにより、消費者ニーズに則した水産加工品の商品開発につなげていきたいと考えています。

(水産業振興課)

○貝毒対策について

1 目的

貝毒プランクトンによる二枚貝の毒化は、食品としての安全性を脅かすだけでなく、出荷自主規制による漁業生産活動に大きな影響を与える観点からも問題とされています。

このことから、本県産二枚貝のうち、産業上重要な種類について、消費者に安全・安心な食品として供給を図るため、定期的に有毒プランクトンのモニタリング及び貝毒検査を行うことが重要であります。国の定める規制値を超えた場合には監視体制の強化や出荷自主規制措置等の対策を講じ、貝毒による食中毒を未然に防止します。

2 貝毒とは

二枚貝類は、植物プランクトンを中心とする水中の有機物を食べて生活しています。プランクトンの中には毒を持つものがあるため、貝がこの有毒プランクトンを食べると、体内に毒が蓄積され貝は毒化します。

これら毒化した貝を食べたとき、ある一定のレベルを超えた場合に症状が現れてくるのが、貝毒による食中毒です。

3 平成21年度貝毒対策

①監視対象プランクトン : ディノフィシス属(下痢性貝毒)
アレキサンドリウム属(麻痺性貝毒)

モニタリング調査 水産技術総合センター 22回, 気仙沼水産試験場 23回 合計45回

②監視対象二枚貝類等: カキ, ホタテガイ, アサリ, ウバガイ, アカガイ, コタマガイ, ムラサキイガイ, トゲクリガニ

③貝毒検査回数: 下痢性貝毒 174回, 麻痺性貝毒 210回 合計 384回

④監視体制海域: 本県沿岸13海域(カキ, アサリ), 7海域(ホタテガイ)
4海域(ウバガイ)

3海域(アカガイ, コタマガイ, ムラサキイガイ, トゲクリガニ)

4 平成21年度出荷自主規制・解除実績

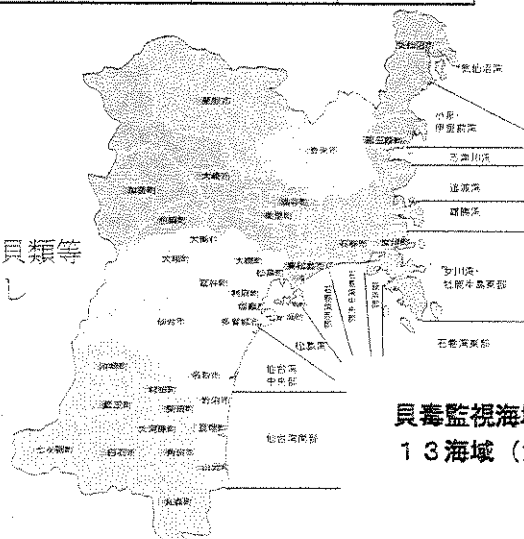
NO	対象種	海域名	貝毒の種類	規制開始日	規制値 (MU/g)	規制解除日
1	トゲクリガニ	宮城県南部	麻痺性貝毒	3月31日	5.0	5月8日
2	ホタテガイ	女川湾・ 牡鹿半島東部	下痢性貝毒	5月11日	0.05~0.06	5月26日
3	ムラサキイガイ	宮城県中部	下痢性貝毒	5月22日	0.08~0.17	6月10日
4	ムラサキイガイ	宮城県南部	下痢性貝毒	6月4日	0.05~0.30	9月18日
5	ムラサキイガイ	宮城県北部	下痢性貝毒	6月19日	0.07~0.14	7月23日



有毒プランクトン

5 今後の対応

今後とも、本県特産であるカキやホタテガイを始め、アサリ、アカガイ、ウバガイ、コタマガイ、ムラサキイガイ、トゲクリガニの8種類の貝類等について、定期的に貝毒検査を実施し食品としての安全性の確保に努めていきます。



貝毒監視海域の区分
13海域(カキ, アサリ)

(水産業基盤整備課)